



長野県立こども病院 総合周産期母子医療センター 次年度新生児クリニカルフェロー募集

当新生児科は、長野県全体の新生児高度専門医療、ならびに長野県中部の新生児地域医療を担っております。

当科は開院当初より長野県の地域の周産期施設とのネットワーク作り、産科・小児科医師、助産師・看護師の教育と育成、療育・教育と連携した成長・発達フォローアップ体制作りを積極的に行っております。

当院は長野県唯一の新生児への手術対応が可能な総合周産期母子医療センターとして新生児救急を担っており、24時間体制で救急医療を供給しています。また、院内出生児の治療だけでなく、院外からの新生児緊急搬送依頼に対し、県内唯一の新生児対応の高度救急救命ドクターカーにて対応しており、新生児科では開院より救急搬送依頼を一切断らずにすべて当科が責任を持って対処いたしております。当院で保持している高度救急救命ドクターカーにより年間約300件以上の新生児搬送（後送搬送を含む）を24時間行うとともに、年間約420名の入院児治療を行っております。

治療を行う際は、すべての疾患の主治医として常に循環器小児科、神経小児科、小児外科、脳神経外科、形成外

科、眼科、遺伝科等の専門医と連携し、新生児期の総合的な小児科管理を行っておりますので、胎児診断例の出生前のICから出生後の術前・術後管理まで含めた幅広い集中治療分野の研修が可能となっております。希望により、小児集中治療科（PICU）、麻酔科研修、神経・リハビリテーション科等も考慮しながら、総合的・全人的な新生児を含めた小児科医師養成を目指しております。また、ロシア、カンボジア、インドネシアからの研修生受け入れや、現地に出向いて指導等の国際交流も盛んです。

現在7人の常勤スタッフ、5人のクリニカルフェロー、3人の後期研修医が勤務しておりますが、雰囲気も良く、現在大変働きやすい環境が整っていると自負しております。当直勤務明けの休みも確保しております。幅広い循環・神経・外科疾患を含めた新生児医療、広汎性発達障害・注意欠陥多動症等の初期診断・治療に興味のある方、どなたでも、ぜひ、私たちと一緒に「赤ちゃんの今後の人生を支えている夢のある新生児医療」を学びませんか？

待遇に関しましては、経験年数、スタッフ枠の有無等で変わりますので、遠慮なくお問い合わせ下さい。官舎（単身赴任・独身、家族対応）・保育所も完備しています。皆様からの連絡を心からお待ち申し上げます。



新生児科部長 廣間武彦

(E-mail) thiroma@wf7.so-net.ne.jp

(URL) <http://nagano-child.jp/>

(TEL) 0263-73-6700 (病院代表)

新生児呼吸療法モニタリングフォーラム

(URL) <http://www.shinshu-forum.org>